

**鶴ヶ島市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画
施策・事業の進捗評価**

令和5年8月

1 進捗評価について

(1) 目的

鶴ヶ島市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画（以下、次期計画という）の策定にあたり、現行の鶴ヶ島市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画（以下、現行計画という）に掲げられている施策・事業の取組状況やその成果、推進上の課題、今後の方向性について点検・評価し、より効果的かつ実効性のある計画とすることを目的として実施します。

(2) 評価方法

現行計画に掲げられている各施策・事業について、「第8期の取組状況」、「取組による成果」、「推進上の課題」、「第9期の方向性」を自己評価しています。

「第8期の取組状況」、「取組による成果」、「第9期の方向性」については、(3)の基準により評価を選択し、具体的な内容を記載しています。

(3) 評価基準

各項目の評価基準は以下のとおりです。

■第8期の取組状況

S	計画以上の取組を実施した（100%以上）
A	ほぼ計画通りに実施した（80～100%程度）
B	ある程度計画どおりに実施した（50～80%程度）
C	あまり計画どおりに実施できなかった（20～50%程度）
D	ほとんど実施できなかった（0～20%程度）

■取組による成果

大	おおいに成果があった
中	ある程度成果があった
小	あまり成果がなかった

■第9期の方向性

維持	今後も取組を維持していく
改善	今後は取組の方法を見直していく
拡大	今後は取組を拡大していく（量・範囲等）
縮小	今後は取組を縮小していく（量・範囲等）
終了	施策・事業は終了する

(4) 各評価数の集計表

■第8期の取組状況

評価	基本目標1	基本目標2	基本目標3	基本目標4
S	2	2	1	0
A	9	7	8	6
B	6	20	3	5
C	2	3	0	0
D	0	0	0	0

■取組による成果

評価	基本目標1	基本目標2	基本目標3	基本目標4
大	7	1	4	2
中	12	29	8	9
小	0	2	0	0

■第9期の方向性

評価	基本目標1	基本目標2	基本目標3	基本目標4
維持	15	19	11	11
改善	2	3	0	0
拡大	2	9	1	0
縮小	0	0	0	0
終了	0	1	0	0

2 評価結果の概要

基本目標 1 誰もが住み慣れた地域で暮らすために、地域包括ケアシステムの深化・推進を図ります

1 介護予防・生活支援サービスの充実

施策・事業名		第8期の取組状況	取組による成果	今後の方向性
(1) 介護予防・生活支援サービス事業の推進				
①	訪問型サービス（第1号訪問事業）	B	中	維持
②	通所型サービス（第1号通所事業）	C	中	改善
③	介護予防マネジメント（第1号介護予防事業）	B	中	維持

2 健康づくりと介護予防の充実

施策・事業名		第8期の取組状況	取組による成果	今後の方向性
(1) 健康づくりとフレイル予防の推進				
①	健康づくりの実践のための取組	A	大	維持
②	生活習慣病の早期発見・重症化予防のための取組	A	中	維持
③	高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業の取組	A	中	維持
④	健康づくりを推進する指導者等の人材育成や活動の支援	B	中	維持
⑤	新型コロナウイルス等の感染症対策に係る高齢者への支援	S	中	維持
(2) 介護予防事業の推進				
①	高齢者実態把握事業	A	大	維持
②	介護予防普及啓発事業	S	大	維持
③	地域介護予防活動支援事業	B	中	維持
④	地域リハビリテーション活動支援事業	C	中	改善

3 地域包括支援センターの充実・強化

施策・事業名		第8期の取組状況	取組による成果	今後の方向性
(1) 地域包括支援センターの機能強化の推進				
①	相談支援体制の充実	A	大	拡大
②	関係機関との連携強化	B	中	維持
③	地域包括支援センター業務の点検・評価	A	中	維持
(2) 地域ケア会議の開催				
		A	大	維持

4 地域共生社会の構築

施策・事業名	第8期の取組状況	取組による成果	今後の方向性
(1) 包括的支援体制の構築	B	中	維持

5 在宅医療と介護の連携の推進

施策・事業名	第8期の取組状況	取組による成果	今後の方向性
(1) 在宅医療と介護の連携の推進			
① 在宅医療・介護の体制の整備	A	大	維持
② 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携	A	大	拡大

■取組を改善していく事業

施策・事業名	第9期の方向性
1 (1) ② 通所型サービス（第1号通所事業）	基準緩和型サービス及び短期集中通所型サービスの提供に向けて市内事業所との調整を更に進める。
2 (2) ④ 地域リハビリテーション活動支援事業	自立支援・重度化防止に向けて、専門職が効果的に関与できるような仕組みづくりの検討及び周知啓発に努める。

■取組を拡大していく事業

施策・事業名	第9期の方向性
3 (1) ① 相談支援体制の充実	職員配置の充実を図るとともに、複雑化・複合化した課題（社会的孤立・ヤングケアラー等）に対応するため、各相談支援機関等の相互連携により、地域の実情を踏まえた家族介護者支援体制づくりを推進する。
5 (1) ② 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携	県が行ってきた人生会議（ACP）の普及啓発事業が令和6年度から市町村の主催事業として取り組むこととなったため追加事業として取り組む。

■数値目標の達成状況

指 標	単位	計画値			実績値			対計画比		
		R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5
介護予防訪問介護相当サービス 利用回数	回	7,282	7,329	7,359	6,406	7,045	7,300	88%	96%	99%
基準緩和型訪問サービス 利用回数	回	480	720	960	7	73	100	1%	10%	10%
短期集中型訪問サービス 利用回数	回	48	48	48	24	12	24	50%	25%	50%
介護予防通所介護相当サービス 利用回数	回	20,280	20,415	20,508	16,506	17,822	17,900	81%	87%	87%
緩和基準型通所サービス	回	240	480	720	0	0	0	0%	0%	0%
短期集中型通所サービス 利用回数	回	120	144	240	0	0	0	0%	0%	0%
介護予防マネジメント（第1号介護予防支援事業） 利用人数	人	2,590	2,637	2,685	2,124	2,299	2,299	82%	87%	86%
元気な高齢者向け介護予防教室 参加人数	人	525	525	525	533	589	589	102%	112%	112%
機能低下が認められる高齢者向け介護予防教室 参加人数	人	180	210	255	92	72	72	51%	34%	28%
市民主体の介護予防活動の場の支援活動の場	箇所	40	42	43	35	35	35	88%	83%	81%
介護予防ボランティア「つるフィット」の養成 養成人数	人	15	15	15	7	10	10	47%	67%	67%
介護予防ボランティア「つるフィット」の派遣 登録者数	人	80	91	102	67	72	82	84%	79%	80%
介護予防ボランティア「つるフィット」の派遣 派遣延べ人数	人	2,000	2,275	2,550	959	1,964	1,964	48%	86%	77%
地域リハビリテーション活動支援事業 支援回数	回	12	14	16	6	1	4	50%	7%	25%
地域包括支援センター 相談件数	件	2,681	2,815	2,955	2,806	3,318	3,318	105%	78%	83%
地域ケア会議（自立支援型） 開催回数	回	12	12	12	10	12	12	83%	100%	100%
地域ケア会議（支援困難型） 開催回数	回	5	6	7	9	7	10	180%	117%	143%
地域包括ケアシステム推進協議会 実施回数	回	5	5	5	3	2	2	60%	40%	40%
医療・介護関係者の研修 実施回数	回	2	2	2	2	2	2	100%	100%	100%

基本目標２ 誰もが自分らしく安心して暮らすために、地域で支え合う 仕組みづくりを進め、日常生活を支援します

1 高齢者在宅福祉の充実

施策・事業名		第8期の 取組状況	取組による 成果	今後の 方向性
(1) 在宅福祉サービスの提供				
①	緊急時通報システム	B	中	維持
②	高齢者等ごみ戸別収集サービス	A	中	維持
③	移送支援サービス	A	中	維持
④	訪問理美容サービス	S	中	維持
⑤	配食サービス	B	中	維持
⑥	生活・介護支援ショートステイ	B	中	維持
(2) 介護者への支援				
①	家族介護教室の開催	A	中	拡大
②	徘徊高齢者見守りシール配付事業の実施	B	中	維持
③	家族介護慰労金の支給	A	中	維持
④	紙おむつ給付事業（特別給付費）	C	中	改善

2 生活支援体制整備の推進

施策・事業名		第8期の 取組状況	取組による 成果	今後の 方向性
(1) 生活支援体制整備の推進		B	中	維持
(2) 地域支え合い活動の促進		A	中	維持
(3) 高齢者等の見守りの推進		B	中	維持

3 安心・安全な生活環境の推進

施策・事業名		第8期の 取組状況	取組による 成果	今後の 方向性
(1) 高齢者のための居住環境の確保				
①	市営住宅	B	中	終了
②	軽費老人ホーム（ケアハウスを含む）	※市内に施設がないため、取り組みなし		
③	養護老人ホーム	A	中	維持
④	有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅の設置	B	中	維持
(2) 防災対策の推進				
①	避難行動要支援者対策の推進	B	中	維持
②	福祉避難所対策の推進	C	中	拡大

施策・事業名		第8期の 取組状況	取組による 成果	今後の 方向性
(3) 高齢者にやさしいまちづくりの推進（バリアフリー等）				
①	公共施設などのバリアフリー化の促進	B	中	維持
②	バリアフリー意識の啓発	B	中	維持

4 認知症を支える地域づくりの推進

施策・事業名		第8期の 取組状況	取組による 成果	今後の 方向性
(1) 認知症等に対する理解の促進				
①	認知症等の正しい知識の普及啓発	B	中	拡大
②	認知症サポーターの養成	S	大	拡大
(2) 認知症予防に向けた取組				
①	認知症予防活動の推進	B	中	拡大
②	認知症地域支援推進員の配置	B	中	維持
③	認知症初期集中支援チームの設置	B	中	維持
④	認知症ケアパスの作成	B	中	拡大
(3) 認知症高齢者への支援体制づくり				
①	オレンジカフェ（認知症カフェ）の開催	B	小	改善
②	チームオレンジの設置	C	小	改善

5 権利擁護支援の推進

施策・事業名		第8期の 取組状況	取組による 成果	今後の 方向性
(1) 高齢者虐待の防止		B	中	拡大
(2) 成年後見制度利用促進事業		B	中	拡大
(3) 成年後見制度利用支援事業				
①	市長申立て	A	中	維持
②	報酬助成	B	中	拡大

■取組を改善していく事業

施策・事業名		第9期の方向性
1(2)④	紙おむつ給付事業	申請時点における高齢者の心身の状態に合わせた給付を進める。また、紙おむつ給付事業について周知啓発を図る。
4(3)①	オレンジカフェ（認知症カフェ）の開催	取組を継続し、オレンジカフェを市内全域にバランスよく設置する。認知症サポーターが活躍できる仕組みづくりを進める。
4(3)②	チームオレンジの設置	本市の高齢化の推計を基に、今後の認知症施策に係る課題を整理し、チームオレンジの活動目的や活動メンバーの調整、必要な社会資源の情報共有を図り、枠組みを整理したうえで令和7年度末までに組織を発足する。

■取組を拡大していく事業

施策・事業名		第9期の方向性
1(2)①	家族介護教室の開催	家族介護者支援を担うことができる地域資源（介護サービス事業所等）との連携により、介護者支援を進める。
3(2)②	福祉避難所対策の推進	要支援者の災害時の開設訓練の実施について調整を図る。また、「災害時における社会福祉施設への要配慮者の受入れに関する協定」について、社会福祉施設との協定先の拡大を図る。
4(1)①	認知症等の正しい知識の普及啓発	共生社会の実現を推進するための認知症基本法の基本理念に基づき、認知症に関する正しい知識及び認知症の人に関する正しい理解を深める。
4(1)②	認知症サポーターの養成	認知症サポーターの養成を継続し、養成講座受講後に活動できる場所の検討を進める。
4(2)①	認知症予防活動の推進	ウォーキングやラジオ体操、シルバーeスポーツ等の普及促進を図ることにより、フレイル予防や認知機能の低下を防止する。 また、介護事業所等とオレンジカフェの設置について調整し、地域で気軽に通える居場所づくりの増設を進める。

施策・事業名		第9期の方向性
4(2)④	認知症ケアパスの作成	認知症に関心のある人だけでなく、幅広い世代の市民に対しての普及啓発の推進を図るため、銀行や郵便局、スーパー、ホームセンター、病院、薬局等の多くの市民が利用する場所に認知症に関するパンフレットを配架するための調整を進める。
5(1)	高齢者虐待の防止	虐待の早期発見をするために、相談体制の充実及び研修会を開催する。
5(2)	成年後見制度利用促進事業	鶴ヶ島市成年後見制度利用促進基本計画の見直しを行い、さらに充実した権利擁護の施策を行う。
5(3)②	報酬助成	令和5年度に見直しを行うため、周知し、必要な人へ支援を行う。

■終了する施策・事業

施策・事業名		第9期の方向性
3(1)①	市営住宅	市営住宅については、令和6年9月に廃止するため、今後県営住宅を含め、幅広い選択肢の中から高齢者の良好な住環境の確保に努めていく。

■数値目標の達成状況

指 標	単位	計画値			実績値			対計画比		
		R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5
緊急時通報システム 設置件数	件	165	170	175	122	113	113	74%	66%	65%
高齢者等ごみ戸別収集サービス 利用世帯数	世帯	27	28	30	26	27	27	96%	96%	90%
移送支援サービス 利用者数	人	18	19	20	22	19	19	122%	100%	95%
訪問理美容サービス 利用者数	人	17	19	20	21	27	27	124%	142%	135%
配食サービス 利用者数	人	37	38	39	22	23	23	59%	61%	59%
徘徊高齢者見守りシール配付事 業の実施 利用者数	人	25	27	30	14	18	18	56%	67%	60%
家族介護慰労金の支給 利用者 数	人	3	3	3	1	4	3	33%	133%	100%
紙おむつ給付事業（特別給付 費） 利用者数	人	170	195	225	75	76	76	44%	39%	34%
第1層生活支援体制推進協議会 開催回数	回	1	1	1	1	1	1	100%	100%	100%
第2層生活支援体制推進協議会 開催回数	回	10	10	10	1	5	5	10%	50%	50%
養護老人ホーム 利用者数	人	4	4	4	4	4	3	100%	100%	75%
介護付有料老人ホーム 設置予 定	か所・人	—	1か所※ (定員81人)	—	—	1か所※ (定員81人)	—			
サービス付き高齢者向け住宅	か所・人	1か所※ (戸数37戸)	—	—	1か所※ (戸数37戸)	—	—			
認知症サポーター養成人数	人	400	400	400	431	430	430	108%	108%	108%
オレンジカフェ（認知症カフ ェ）設置数	か所	8	8	8	8	7	7	100%	88%	88%
成年後見制度利用支援事業 市 長申立て件数	人	3	3	3	3	3	3	100%	100%	100%
成年後見制度利用支援事業 報 酬助成件数	人	8	9	10	4	6	6	50%	67%	60%

※埼玉県において事業登録等を行ったもの

基本目標3 誰もが健康でいきいきと活躍するために、高齢者の活躍の場を確保します

1 生きがいつくりの支援

施策・事業名	第8期の取組状況	取組による成果	今後の方向性
(1) 老人クラブへの支援	A	中	維持
(2) 高齢者の生涯学習活動の支援	A	大	維持
(3) 高齢者の健康づくり・スポーツ活動の推進	A	大	維持
(4) 老人福祉センターの運営	S	大	維持

2 社会参加の促進

施策・事業名	第8期の取組状況	取組による成果	今後の方向性
(1) つるバス・つるワゴンの利用促進	A	中	維持
(2) 高齢者の就労促進			
① 高齢者への就労相談機能の強化	B	中	維持
② シルバー人材センターの活動支援	A	中	維持
(3) ボランティア活動の推進			
① 社会福祉協議会の支援	B	中	維持
② 地域活動の支援	A	中	維持
③ 自治会活動等の支援	A	中	維持
④ 地域福祉活動の担い手の育成	B	中	維持
⑤ 高齢者の専門的な経験・能力のまちづくりへの活用	A	大	拡大

■取組を拡大していく事業

施策・事業名	第9期の方向性
2(3)⑤ 高齢者の専門的な経験・能力のまちづくりへの活用	シルバー人材センターと連携し、シルバーeスポーツ・デジタル支援員を養成し、身近な場所でスマホの操作等を聞ける環境づくりを継続して構築していく。

■数値目標の達成状況

指 標	単位	計画値			実績値			対計画比		
		R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5
老人クラブ 会員数	人	1,189	1,193	1,200	1,120	997	881	94%	84%	73%
老人福祉センター 利用者数	人	31,200	31,200	31,200	31,495	41,212	43,000	101%	132%	138%
つるバス・つるワゴン特別乗車証 新規発行数	人	550	496	471	728	827	850	132%	167%	180%
シルバー人材センター 会員数	人	740	750	760	755	745	745	102%	99%	98%

基本目標 4 誰もが安心して介護サービスを受けられるようにするために、介護保険制度の安定的な運営を推進します

1 介護保険サービスの充実

(評価対象外)

2 介護保険事業費の見込み

(評価対象外)

3 介護給付の適正化等の推進

施策・事業名		第8期の 取組状況	取組による 成果	今後の 方向性
(1) 介護給付費適正化対策事業				
①	要介護認定の適正化	A	中	維持
②	ケアプランの点検	B	中	維持
③	住宅改修、福祉用具購入・貸与調査等の点検			
	ア 住宅改修の点検	B	中	維持
	イ 福祉用具購入・貸与調査	A	大	維持
④	医療情報との突合・縦覧点検	B	中	維持
⑤	介護給付費通知	A	大	維持
(2) 介護保険事業の円滑な運営				
	適切な要介護（要支援）認定の実施	A	中	維持
	介護サービス等の情報提供	A	中	維持
	事業所の指導監督に関する取組等	A	中	維持

4 介護人材の確保

施策・事業名		第8期の 取組状況	取組による 成果	今後の 方向性
(1) 介護人材の確保に向けた支援		B	中	維持

5 感染症対策の推進

施策・事業名		第8期の 取組状況	取組による 成果	今後の 方向性
(1) 新型コロナウイルス等の感染症対策に係る介護事業所への支援		B	中	維持

■数値目標の達成状況

指 標	単位	計画値			実績値			対計画比		
		R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5
要介護認定調査票 点検件数	件/年	全件	全件	全件	2,324	2,457	2,790	-	-	-
ケアプラン点検件数	件/年	50	50	50	75	91	70	150.0%	182.0%	140.0%
住宅改修の点検 訪問件数	件/年	適宜	適宜	適宜	1	1	1	-	-	-
福祉用具購入・貸与調査 訪問件数	件/年	全件	全件	全件	21	22	20	-	-	-
医療突合件数	件/年	3,000	3,000	3,000	4,762	4,500	4,500	158.7%	150.0%	150.0%
縦覧点検件数	件/年	1,200	1,200	1,200	1,407	1,500	1,500	117.3%	125.0%	125.0%
介護給付費通知	回/年	2	2	2	2	2	2	100.0%	100.0%	100.0%